

ホッと手話まつり

手話で語らい、ふれあう
ホッとするひと時を♪*°

日 時

2012年3月4日(日) 13時30分~15時20分

- プログラム -

13:30~14:20 マジックショー

(出演者: ミスターかわづ 氏)

14:40~15:00 手話歌

(出演者: 中原啓子 氏 / 小塚通宏 氏)

15:00~15:20 抽選会

抽選会で耳の日大会チケット
の半券を使いますので、大事
にとっておいて下さいね!!



プロフィール

デフ・マジシャンの不思議な世界へようこそ…



驚き
不思議
楽しさ

ミスターかわづ

- 大分県出身
- 大阪府茨木市在住
- DMC に所属
- かわづ企画

たった1本のたばこが消えた瞬間マジックの魅力に引かれ、今ではいろんなジャンルのマジックに活動を広げています。ステージでは独自の演出で皆様を不思議な世界へ…ミスターかわづの世界をご覧ください。

1996年 初舞台

1999年 NHK 教育テレビ「きらっといきる」に出演

2002年 世界ろうあマジック大会 5位 (モスクワ)

2004年 日米マジックショー (エル・おおさか) に出演

2005年 TV「衛生劇場デフシアター」に出演

2005年 韓国マジックショー (慶北) に出演

2006年 NHK 教育テレビ (みんなの手話) マジックショーに出演

2006年 目で聴くテレビ (マジック教室) に出演

2007年 堺市ろうあ者福祉協会・大阪施設募金チャリティーコンサートに出演

2008年 第37回奇術の祭典 (大阪厚生年金会館芸術ホール) に出演

2011年 サイエンス・フェスタ科学の祭典 (ハービス HALL) に出演
(2000年～) マジックショー・マジック教室に出演中

2011年 サイレント・マジックショー 2 (大東文化会館ホール・東京都板橋区) に出演

2011年 地域こども体験プログラム
(2006年～)「マジックショー・体験・手話」を大阪各地の小学校で指導中
* その他 出演多数

- 日本各地のイベント、大阪府・市内の学校を中心に福祉施設、地域行事、PTA 行事等に活動を広げています。

かわづ企画 kawadukikaku.com

なかはら けいこ ♪ 中原 啓子 ♪

京都市生まれ。京都市立堀川高校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業。

手話通訳士。現在、埼玉県登録手話通訳者、越谷市登録手話通訳者として活動中。

結婚を機に関東に移り住み、後進の指導や演奏活動を行う。障害があってもなくても使いやすい共用品の普及を通じて、バリアフリーを推進する「E&Cプロジェクト」(1999年より「財団法人共用品推進機構」)に参加。聴覚障害班にて活動を始める。また、同グループ主催の手話コンサート(96、97年秋)では、銀座のピクチャーショールーム「バリアフリーは銀座からコンサート」にも出演。また、東京ビックサイトで開催される「おもちゃショー」では、日本玩具協会の小さな凸ブースで啓発活動の一環として、また、千葉にある「成田夢牧場」に招かれ出演。最近では、各地の小学校の総合教育の場や幼稚園から高校まで、手話コンサートを中心に共用品やバリアフリーの講演を行う。

こづか みちひろ ♪ 小塚 通宏 ♪

1955年、岩手県生まれ大学に入るために上京する。

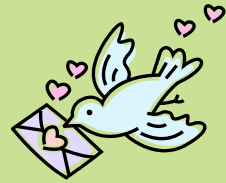
ギターを13歳から始め、バンド等、音楽活動を続ける。某おもちゃ会社にて、企画開発を担当。E&C(「財」共用品推進機構)の前身にて、手話と出会い、手話ソングと出会い、中原啓子と協演を始め、現在に至る。会社に於いても、視覚障がい者、聴覚障がい者と共に、共遊玩具に携わった。



ホッと
手話まつり
出演者



出演者 ～message～



この度の東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

テレビや新聞で災害の状況を観るたび胸が詰まる思いでいっぱいです。わたくしも17年前、阪神淡路大震災を経験しました。今でもその当時の出来事は忘れる事はありませんが、17年経った今では、穏やかな日常があります。つらい経験を乗り越えることができたのは、たくさんの方々のあたたかい気持ちと支えがあったからです。

今、わたしに出来ること 微力ではございますが皆様にマジックを観ていただき、楽しいひと時をご一緒させていただけることで、少しでも復興へのお力になればということです。

変わった風景は長い時間を経て、きっとまた再生するでしょう。私たちは手を取り合い、心を寄り添うことで、近い将来 人との絆を強め、生きる喜びをかみしめるでしょう。

一日も早い復興を、皆様に穏やかな時間が流れることを心よりお祈り申し上げます。

●ミスターかわづ●

地震があったとき、私は聞こえない方と会議中でした。埼玉でも揺れ方と揺れている時間が長かったので、凄いいことが起きたと思いました。

帰宅して津波の映像を見たときの全身が凍るような思いは今も忘れません。それから何日間かはあまりに被害が大きいので、喪に服したような日々を送りました。その後救援本部の役員になり、10月に仙台での「ホッと手話まつり」をお手伝いしたときは皆さんの笑顔に隠れた悲しみを知りました。

悲しみは消えません。ですが、皆様が集まっているときには楽しく手話でコミュニケーションして、少しは忘れる時間があっても良いと思います。

今日の帰り道は笑顔で帰っていただけるように、楽しい時間を一緒に過ごしたいと思います。

●中原 啓子●

私は岩手県出身です。幸い内陸でしたので、実家は津波の被害は無かったのですが、友人の家が流されたり、知人がお亡くなりになったり、親戚が行方不明だったり……。そして、福島の皆様、それに加えて、目に見えない驚異……。

埼玉の友人宅にも、郡山市から、まだ一才にも満たない我が子を連れて、お母様だけが避難をしています。旦那様は郡山市で働いています。ここでどんな言葉を発しても、無力だと思えます……

私は「頑張れ!」とは言いません。言えません。私たちが頑張るから、皆様も、1ミリずつでもいいから、前に進めるようになったら……と思います。

「笑顔になろう」 笑顔は、人に向けるもの。そして、自分に向けるもの。苦しい時こそ、笑顔になろう。今日の中原さんの歌声と手話で、ほんの少しでも笑顔になれば……

●小塚 通宏●

